

マウスコンピューターはなぜ薄利ビジネスを勝ち抜けたのか？

～創業から24年間のヒト・モノ・カネをたどってみる～



マツコ・デラックスや乃木坂46の広告で一躍知名度が上がったマウスコンピューター。同社は受注生産方式(BTO)の PC 製造販売会社です。これといった技術がなかったにも関わらず、積極的な企業買収で経営基盤を固め、し烈な価格競争を勝ち抜いてきました。

同社の持株会社であるMCJは、直近期の連結売上約 1900 億円、経常利益 137 億円の実績を上げています。特筆すべきは、98 年の創業時から直近期まで、業績がすべて公開されていること。今回の勉強会は、草創期からのヒト・モノ・カネの推移をつぶさに分析し、同社の足跡をたどります。その時々々の市場環境をどのように認識し、どのような構想を持ち、具体的にどのような手を打ってきたか。同社の経営のかじ取りを体感する場にしたいと思います。

創業者の高島勇二氏は 28 歳の時に同社を設立。6 年後の 04 年には東証マザーズに上場し、そこで手にした資金で PC モニターの著名ブランド「イーヤマ」を買収します。07 年に持株会社に移行してさらなる拡大基調に入り、ハードウェアの製造販売からバリューチェーンの川上、川下に事業を広げていきます。16 年にはブランドロゴを一新し、TVCM の投入により売上を拡大。最近では、コロナ禍によるテレワーク需要を追い風に業績を伸ばしています。

勉強会では、各年の決算情報を基にした経営方針の変遷、事業ポートフォリオの改変といった戦略レベルの分析に加え、資金調達・キャッシュフロー・製造原価などの財務・会計分野の分析を座長から提供し、共有します。これまでの紆余曲折の中で、経営のポイントがどこにあったのかを議論したいと思っています。

さらに、新興企業のスピード感をイメージしたうえで、自社のアナザーストーリーをあれこれ考えてみる場にもしたいと思います。「もしお金があったらどんな事業展開が可能か」を妄想するのも悪くないと思っています。

日時 2022年10月15日(土) 14時 ~ 17時20分
 (終了後、リアル参加者の有志で懇親会を予定しています)
 場所 リアル会場： 若杉大阪駅前ビル7階会議室
 オンライン： 前日までに zoom の URL を配信します
 人数 20 名程度
 会費 3,000 円 (リアル参加者のみ、税込)
 お申込み こちらのサイトからお申込み下さい
<http://www.zeta-consulting.jp/>
 主催 ゼータコンサルティング株式会社

